

## 第3章

### 第1次計画の成果と課題

#### 1 成果と課題

## 第3章 第1次計画の成果と課題

### 1 成果と課題

前計画では、4つの基本方針ごとに具体的な指標を掲げ、様々な事業に取り組みました。

各指標及び数値目標に対する達成状況や、市の取組みの成果を踏まえ、前計画の評価を行います。評価に用いる策定時、中間調査、最終評価の値は、主に平塚市食育推進のための実態調査（平成19年、平成23年、平成26年実施）の結果を用いています。また、評価方法については、P29に掲載しています。

#### 基本方針（1）家庭ではじめる食育

〈主な取組み〉

厚生労働省、文部科学省がすすめる「早寝早起き朝ごはん」を基本とした乳幼児期からの規則正しい食生活習慣の形成や、食を楽しみ、食べることを大切にする気持ちを育むための取組みを推進しました。

〈成果〉

幼児期（3歳児）の食事のリズムを意識している割合は、計画策定時に比べて大きく増加しました。目標値の2人に1人から、3人に2人以上の人が正しい生活習慣を意識しています。

表3-1

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況	
家庭ではじめる食育	早寝早起き朝ごはんを 実践する家庭の割合	50%	34.4% (3歳)	16.7% (0~5歳)	71.4% (3歳)	142.8% A	
	バランスのとれた 朝食を食べる 子どもと大人の割合	0~5歳	60%	44.8%	51.7%	50.0%	83.3% B
		20歳代	55%	40.0%	28.4%	31.6%	57.5% D
		30歳代	50%	35.0%	41.1%	43.5%	87.0% B
		40歳代	60%	45.0%	36.0%	52.4%	87.3% B

〈課題〉

全体的に朝食を毎朝食べる割合は増加し（P9図2-5）、指標に掲げているバランスのとれた朝食をとっている割合も多く年代で増加したものの、目標は達成できませんでした。

今後も、朝食の欠食率を減少させるとともに、バランスの良い食生活の啓発が必要です。

## 基本方針（２）体験を通じた食育

### 〈主な取組み〉

農業・漁業体験や、料理体験を通じて、食べ物の生産から料理まで様々な体験をすることで、食に対する関心と理解を深めることができ、食べ物に対する感謝の気持ちを育てました。また、平塚にゆかりのある「村井弦斎」の唱えた食育の考えを継承し、食育に関する事業への参加を促進しました。

### 〈成果〉

食に関する体験活動・情報提供の場の充実は本市関連各課で事業を実施し、子どもたちから地域住民まで、市民が食生活の基盤の形成や、食べ物への感謝、食べることの大切さを理解できる環境が整いました。

表 3-2

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況
体験を通じた食育	小中学校	43校	29校	未調査	43校	100.0% A
	高校	6回	2回	2回	1回	16.7% D
	公民館	26公民館	18公民館	未調査	26公民館	100.0% A
	漁業・加工見学	2回以上	1回	2回	2回	100.0% A
	パンフレット作成	作成・普及	未実施	作成・普及	作成・普及	作成・普及 A
	食に関する事業を知っている件数	3件	2.3件	2.3件	2.6件	86.7% B
	食育を唱えた村井弦斎の認知率	40%	29.0%	33.4%	31.7%	79.3% C

### 〈課題〉

食に関する事業の件数や、食育を唱えた村井弦斎の認知率は計画策定時に比べると若干増加しているものの、目標は達成できませんでした。

今後も食に関する体験活動を通じて食育の推進を図ると共に、平塚市で行っている食育事業の啓発を行うことが必要です。

### 基本方針（3）健康づくりのための食育

#### 〈主な取組み〉

食事の基本であるバランスのとれた食事を実践するために、食事バランスガイドの活用方法や健康的な食生活（野菜の1日摂取量）について各種教室、講座などで情報提供しました。

#### 〈成果〉

平塚版食事バランスガイドは、平塚市食生活改善推進団体の協力のもと、作成しました。現在、市内の公共機関で自由配布し、本市ホームページでも閲覧することが可能です。

表 3-3

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況
健康づくりのための食育	平塚産食材を使った食事バランスガイドの普及	作成・普及	未実施	未実施	作成・普及	作成・普及 A
	野菜を1日350g食べている人の割合	60%	45.0%※	48.1%※	21.0%	35.0% D

※平塚市民の健康意識アンケート調査（平成20年、平成24年実施）結果から

#### 〈課題〉

野菜の摂取量の増加は、体重コントロールや生活習慣病予防に効果があると言われ、本市の健康増進計画でも「野菜を1日350g食べている人の割合を増やす」を指標として掲げ、多くの事業で食事バランスガイドを用いて、「野菜を1日350g食べよう」「野菜を1日5皿食べよう」を啓発してきました。

しかし、「野菜を1日350g食べている人の割合」は、計画策定時よりも減少しています。

本市は、農業が盛んで、地場産野菜も多く生産されるなど、地産地消の推進とともに、野菜摂取量の増加を更に啓発していく必要があります。

## 基本方針（４）人とのふれあいを通じた食育

〈主な取組み〉

行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力することにより、市民一人一人が主体となって食育活動に取り組めるよう推進しました。

〈成果〉

表 3 - 4

基本方針	指標	目標値	策定時	中間調査	最終評価	達成状況
人とのふれあいを通じた食育	食育ボランティアの人数の増加	320人以上	289人	H24.4 287人	H26.4 283人	88.4% B
	食育に関心を持っている人の割合	90%以上	70.3%	67.5%	66.3%	73.7% C

〈課題〉

食育ボランティアの人数の増加、食育に関心を持っている人の割合ともに、計画策定時に比べ、増加しませんでした。本市の食育ボランティアは、平塚市食生活改善推進員を言い、今後も会員数については課題となります。

また、食育に関心を持っている人の割合は、国や県に比べても低い現状です。本市では、様々な食育活動を展開していく中で「食育」に関心を持てるように更なる啓発が必要です。

### 【前計画評価方法及び達成状況】

〈評価方法〉 最終評価値÷目標値×100 (%)

〈評価基準〉 A：目標達成 B：8割達成 C：6割達成 D：6割以下

〈達成状況別指標数〉 A：6項目 B：5項目 C：2項目 D：3項目

